

先進地に学ぶ 行政視察レポート

総務常任委員会

視察日：平成21年8月3日～5日

視察先：静岡県浜松市、山梨県甲府市

〔浜松市〕：バイオマスタウン構想について

農山村の間伐材、農業残さ類、都市型の生ごみ、下水汚泥等のバイオマスの利活用を推進するため、関係者や有識者等からなるバイオマス利活用推進協議会の設置を予定しており、バイオマス利活用に積極的に取り組まれていました。

更に、市民に向け「環境家計簿」を作成し、全世界帯が家計簿に記録することにより、二酸化炭素の排出量の実態と家庭で無理なく排出削減に取組ができる対策を講じられているなど環境の保全向上対策に真剣に取り組まれていました。

〔甲府市〕：事業仕分けについて

平成20年試行として事業仕分け（35事業）を実施し、平成21年度から本格導入とし、2か年で全事業の約3割にあたる150事業の仕分けをする計画であります。

事業仕分けを行うことにより、既成概念の打破、慣例の見直しをする良い機会となり、担当課が事業の内容や無駄について見詰め直したり、市民が事業を知る良い機会であると話されていきました。

奥州市にあつて、旧市町村事業の多くを継承している感があることから、事業仕分けの必要性を強く感じた次第です。



教育厚生常任委員会

視察日：平成21年7月12日～14日

視察先：新潟県新潟市、新潟県加茂市、新潟県長岡市

〔新潟市〕：「にいがたっ子すこやか未来市民委員会」について

平成16年度に「次世代育成支援対策行動計画」を策定し、この市民委員会を設置しました。ここでは市民主体で市民ニーズに沿った子育て支援を行い、「居場所部会」「情報提供部会」「子供の権利条例部会」でスタートしました。



〔加茂市〕：「高度な福祉の更なる充実」について
「日本一の福祉のまち」を謳う加茂市は平成8年、日本初の在宅介護・看護支援センターの設置をはじめ、多くの介護支援体制の整備に努め、障がい者福祉、児童福祉などで多くの施策を展開しております。

〔長岡市〕：「熱中！感動！夢づくり教育」について

この事業の3つの柱は、①どの子にもわかる授業の実現、②地域の力、市民の力を生かした教育の推進、③熱中・感動体験活動の充実です。

①では教員の資質向上のために1年間マンツーマン「教員サポート錬成塾」等、②では「地域・子ども元気塾」、「子育ての駅」など世代間交流の場が整備され、③では「ロボコン教室」、「木工教室」、また一流スポーツ選手による「特別授業夢先生」などが行われており、当市も参考にすべきと感じました。